



校長室だより

武生第五中学校 校長室

令和7年 6月2日(月)

第 3号



修学旅行・校外学習を終えて

中学校の修学旅行は明治時代にはじまり、東京への団体旅行が多かったそうです。高度経済成長を経て、福井県でも3泊4日で東海道新幹線ひかり号に乗り、関東・北関東方面へ行き、歴史的名所や政治経済の中心を訪ねる流れが主流でありました。やがて昭和の終わりとともに東京ディズニーランドができ、いろんな事情から2泊3日と変化し、現在では、行先も交通手段も多様化し、内容も様々な形になり、現在に至っていると聞きます。

そんな修学旅行も、文字通り学びを修める目的が色濃く表れる形となってきました。9名の3年生は、家族以外で授業中に首都東京で活動をして、何を学んできたのか興味津々ですが、誰もがふるさと「しらやま」と比べる瞬間があったでしょう。



1, 2年生の校外学習での名古屋も同じです。何を感じ、学び取りましたか？家族以外で行ったからこそ、学べたことも多かったと思います。



全員無事に帰ってこれたことはもちろん、期間中の天候に恵まれたことや、現地で判断して、臨機応変対応できたこと、これまでの準備に費やした時間や内容も含めて、今回の学校行事にチャレンジさせていただいたご家族の方々に感謝してください。

突然ですが、あなたは何かに挑戦していますか？ ※挑戦 = 困難なことにいどむこと。

ここでいう困難なこととは、当然個人差があり、挑戦（チャレンジ）している本人にしかわからない部分が多いと思いますが、誰から見ても困難なことなのか、あなたにとっては簡単なことかもしれないけど、私にとってはとても困難なことなのかと様々です。何かに挑戦している人は、挑戦できていない人と何が違うのでしょうか？

挑戦して得られるとされるもの

- ①自分を信じる心
- ②強いメンタル
- ③価値観の広まり
- ④自己分析力
- ⑤計画力、先を見通す力

学校では・・・

- 失敗を指摘せず、気づかせたい
- 感性や興味に肯定的でありたい
- チャンスを与えるために余裕を持ちたい
- 子どもと安心できる関係性を育みたい
- 幅広い領域で、さわりの体験をさせたい

挑戦して嫌だとされるもの

- ・失敗が嫌、失敗がトラウマ
- ・成功しないと嫌
- ・先の見通しが不安
- ・成功以上に失敗が怖い
- ・今のままでいい

みなさんならどう考えますか？ みなさん何かに挑戦していますか？